

創立 1964年 6月16日
 認定 1964年 10月19日
 第2510地区 第11グループ



Hakodate North R. C.

2003~2004

函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of



2003~2004年度
 R.I.会長
 ジョージ B. ヴォリアン
 国際ロータリーへのテーマ
『手を貸そう』

四つのテスト

-言行はこれに照らしてから.....
1. 真実か どうか
 2. みんなに公平か
 3. 好意と友情を築めるか
 4. みんなのためになるか どうか

北村 祐治 会長 テーマ 『YES, I DO!』 さあ、行動しよう!



8月6日 夜間例会セミナー

《第1931回例会》 第7号 8月20日(水)

本日のプログラム

卓話 「函館再発見」

日本銀行函館支店長 市原 好二氏

会長 北村祐治(任) ★幹事 柴崎 晃

例会場: 函館 国際ホテル 〒040-0064 函館市大手町5-10 TEL23-5151
 例会日: 毎週水曜日 12:30~13:30 事務局: 函館市大手町5-10 ニ子ロビル4F TEL23-3870

(40)

小笠原 商事 (店舗貸借)

代表取締役 小笠原 孝

〒042-0915 函館市西旭岡 1丁目3-8
 TEL (0138) 50-3116
 FAX (0138) 50-3146

(広告掲載: 小笠原 孝 会員)

函館北ロータリークラブは web(ホームページ) を公開しております。

http://www.hakodate-north.org/
 e-mail: rnl@rotary@hakodate-north.org

2003 - 04 年度 函館北ロータリークラブの事業目標

1. 一般社員の健全化——創立50周年に向けて
2. 親睦「心」のつとめ活動——2003年9月21日創立記念式典・懇親会が最大の「親睦の日」
3. 奉仕——*地域社会: 市入交通安全車(1500名)の高齢(記念事業)
 ロータリーによる新世代への教育開発・意欲開発を自指す。
 *国際奉仕: 国際奉仕活動の「身」を育てる
 子供・家庭・職業奉仕委員会を通じて地域社会に貢献する
 *国際奉仕: 国際奉仕活動の「身」を育てる
 今、他国では、一方田の奉仕の価値が十倍・二十倍に高められます。
 「R.I. 3400地区イノブネクラブ・ソコサカカルタ・タマツサリC」を通じて、小学校の図書館支援のため、本箱・机・本1500冊などの物品を寄贈する」
 「R.I. 3400地区イノブネクラブ・ソコサカカルタ・タマツサリC」を通じて、小中学校の図書館支援のため、本箱・机・本1500冊などの物品を寄贈する」
 4. インターネット・コミュニケーション委員会を設置し、当クラブ以外のクラブとの情報共有に、合わせて会員企業の情報交換に貢献する。
 5. 反人の言動に好意を示し、反人の成長を願って、「手」を貸しましょう。——
 —Lend a Hand and Take Action with our heartfelt care
 —for Rotary's international vision!

◎ 7月23日出席報告

会 員	出席率対象会員		出席率規定免除会員	
	出席	欠席	出席	欠席
当日出席	26名	8名	当日出席	16名
他クラブ出席	8名		出席合計	34名
出席率	82.93%			

・テレビオンサービス(例会移動案内)電話 26 - 3170 番

次回・8月27日

卓話 「今、なぜ中国か」

プログラム

9月・中国山東省中興山東建文大学 佐藤 勝博氏

◎司 会 北村 祐治 会長 ◎斉 唱 それでこそロータリー、四つのテスト

◎ピジター 函館五稜郭R.C.黒田博史君・石沢 真 君・大日向豊吉君、
函館亀田R.C.田中 仁 君

◎会長報告 北村 祐治 会長

○インドネシア、タマンサリーR.C.に要請しておりました40周年記念式典へのメッセージがEメールで届きました。
40周年おめでとうございますということ、人生は40で始まる。将来できれば一緒に共同の事業をやりたいということが書かれています。
支援の小学校は、セコラザータ、ガールレジョー第3小学校というところですが、当クラブから30万円、また地区から20万円を贈り、図書は1,500冊、図書館は11月に出来上がるということです。

◎委員会報告

●40周年実行委員会 南木 哲雄 幹事

過日、函館市へ車両を寄贈した記事が、北海道新聞に小さく載っております。
本日は、40周年実行委員会からお願いがございます。
9月21日の記念式典に向け、各部会の準備も順調に進んでおりますが、友好クラブの出席が現時点で、台北から30名以上、和歌山・千葉からは各25名以上の予備登録をいただいております、約80名の出席予定となっております。
予定を大きく上回る出席で大変ありがたう思っておりますが、予算的に大変苦しい状況にあります。既に皆様からは15,000円の登録料をいただいておりますが、遠方から両願に来られる方々へそれなりの対応をいたしたく、会員の皆様には大変恐縮ですが、一人当たり5,000円の増額負担をお願いしたいと存じます。

本日、中野会長がおりませんが、8月6日に開催の理事会にこのことを提案させていただきます。

次に、ポリテクセンターが専門の企業、学校等に委託している訓練コースについて説明します。パソコンを活用するうえで必要となる、基本操作から表計算までの技能を習得するOAビジネス科のほか介護サービス、経営管理実務、建築実装、経営システム科などがあります。

これらのコースは、研修終了後、会社側も訓練生もいいとなれば、その会社に就職していただくという特殊な訓練コースになっていきます。

次に求職情報誌「雇って」について説明します。これはOAビジネス科を終了した方について、年齢、希望職種、希望月収、学歴、免許・資格、自己アピールなどを載せ、ハローワークを通じて市内の各企業に配付しているものですが、皆様方の会社におかれましても中途採用の計画がありましたならば、よろしく願っています。

続いて、在職者訓練(能力開発セミナー)について説明します。私どもの主な事業は継続されている方の職業訓練ですが、厳密に言いますと雇用保険受給者の職業訓練ということで実施しております。これ以外に在職されている方、企業の従業員向けの職業訓練ということで「能力開発セミナー」という専用の名称を用いてピーアールさせていただきますが、色々なセミナーを設けております。

阪神・淡路大震災以降注目されている、木造住宅の耐震性と補強施工技術、高齢者住宅のリフォーム、各種表計算の実務、ホームページ作成のためのウェブ作成技法、資金繰りと財務安定分析など多岐にわたっております。これらは基本的に私どもの講師が担当いたしますが、特に専門的な内容については、社会保険労務士、税理士、公認会計士等にも協力いただいております。

最後に、衛星通信で全国の会場にリアルタイムで配信するセミナーについて少し説明させていただきます。毎週木曜日、6:00から7:00まで、企業や離職されている方を対象として雇用創出セミナーの映像を放映しておりますので、皆様方におかれましても勉強会等でご活用いただきたいと思います。

以上で説明を終了させていただきますが、雇用・能力開発機構は、独立法人ということに移管されることになり、だんだん新しい時代を迎えつつあります。私どもは、民間にはできない仕事、あるいは都道府県でもできないような仕事を国レベルで実施しております。皆様方に活用していただけるものがあれば、情報の提供をさせていただきます。と思いますのでよろしく願っています。ご静聴ありがとうございました。

(会報担当者：紫前 雅夫 委員)